

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 恵庭光風会 放課後等デイサービスたくと		
○保護者評価実施期間	7年 1月 1日 ～ 7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 16名(兄弟で利用されているご家庭は1部提出)
○従業者評価実施期間	6年 8月 1日 ～ 6年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	6年 9月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別プログラムの充実(作業学習)	全体で実施する活動とは別に、年齢や発達段階に応じて3つのグループを作り、集中的な支援を行う体制を作っている。中高生は将来「働く」を意識して作業に取り組む時間を設け、「働く→暮らしに繋がる」といった社会の仕組みについて学ぶ環境を整えることで、将来を意識して作業に取り組むことが出来ている。小学生は集中する時間を延ばしていけるように作業内容を工夫し、楽しみながら取り組めるように配慮している。	・作業種を増やす。 ・職業体験や見学に行き、社会にはどのような仕事があるのかを知る機会を作る。
2	不登校児童、学校の行き渋りのある児童の受け入れ	学校に行けない児童に対して、学校や保護者の方と会議を行い、家から離れて過ごす時間を作っている。まずは支援員と1対1での療育を提供し、少しずつ人数や時間を延ばしていけるように支援を行っている。	・事業所内で得意なことや好きなことを見付け、やりがいを持って取り組める活動を作る。
3	連絡帳や請求のアプリ化	連絡帳をアプリで配信することにより、児童が帰宅後に連絡帳を作成することが出来る。その為、児童がいる時間は手厚い支援を提供する事が出来ている。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢層が幅広く、活動を展開する際の難しさがある。	下校時間の違いや、遅い下校時間になると活動に十分な時間を割くことが出来ない。	学校休業日に活動や個別プログラムを充実させていく。
2	地域交流が少ない。	平日は下校時間が遅いこともあり、地域との交流が難しい。	学校休業日に地域との交流を図っていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスたくと		6年 10月 17日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8名	0名	短期入所用の居室もある為、個別に対応できるスペースが確保できています。	用途に応じて使い分けできるように全部屋を使用していきたいと考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6名	2名	常時4～5名で対応しています。	その日の児童の様子や人数によって、適切ではない場面も時折あります。個別対応が必要なお子さんに十分な支援ができるように、職員配置をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8名	0名	児童の特性によってスケジュールの伝達方法を工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8名	0名	毎日清掃と消毒を行い、清潔な環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8名	0名	数に限りはありますが、個別で過ごす部屋やクールダウンを行う為のお部屋を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8名	0名	個別目標とその日のプログラムを照らし合わせてどのような支援をしていくかすべての職員が参加して確認しています。日々の支援の振り返りも行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5名	3名	保護者向けに評価表の記入を依頼しています。	保護者向けの評価表を集計し、職員にも確認を促していますが、結果に対して職員間で打ち合わせを行う機会は少なかった為、今後は積極的に取り組んで参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8名	0名	毎日ミーティングを行い、その中で情報共有や伝達を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0名	8名		現在は外部評価は行っていません。今後法人の中でも検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8名	0名	毎月事業所内にて職員研修を行っています。法人の取り組みとして動画視聴研修も行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6名	2名	ソフトを使用して、当日のプログラムの様子を公開しています。	以前まではご家族に向けて事前にプログラムの内容をお伝えしていましたが、現在はシステムが変わってしまった為、伝える手段検討して参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7名	1名	職員間でモニタリングを行い、ご家族との面談の場でニーズや方向性を話しております。	面談に出来ないご家族もいる為、面談日の幅を広げていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8名	0名	計画を作る際には会議を開き、現場で働く職員の意見を取り入れながら作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8名	0名	計画に沿った支援と記録が残るように、目標と支援をすぐに確認できるファイルを活用しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6名	2名	児童の適応行動の状況を把握する為、独自のアセスメント表を作成しています。	定期的にあセスメント表の見直しと更新を行う必要がある為、今後取り組んで参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7名	1名		「家族支援」「移行支援」及び「地域支援、地域連携」については具体的な取り組み内容を検討して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6名	2名	プログラムは個々で立案していますが、当日に流れの確認をする際に、職員各々が意見を出し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8名	0名	活動プログラムの項目は、曜日が固定しないように配慮したり、同じ活動にならないように内容を変えて実施しています。	5領域をしっかりと理解し、当てはまる項目に沿ったプログラムを展開出来るように支援して参ります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6名	2名	活動への参加は利用者の様子をみながら対応をしています。また、集団活動と自由遊びなどの時間の区切りをつけてメリハリのある支援の実施に努めています。	利用者それぞれの発達に合わせ、個別活動を実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8名	0名	毎日打ち合わせを行い、前日の振り返りや当日の役割分担などを確認しています。	長期休暇の場合は打ち合わせが難しい場面がある為、勤務の調整などを行い、時間を作ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5名	3名	現状は当日に振り返りを行うことが出来ていない為、翌日に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8名	0名	利用時の様子については、全員分を毎回ケース記録に記入しています。家族からの要望や連絡も記録しています。	記録の記述については、随時指導を行い統一した内容を記録できるよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8名	0名	定められた期間に合わせてモニタリングを行い、全職員が確認し意見を出し合っています。その際に見直しが継続の判断を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8名	0名	複数の活動を児童の実態に応じて取り入れて行っています。	「地域交流の活動」「子どもが主体的に参加出来る活動」をどのように実施していくかを今後検討して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7名	1名	自己決定をする力を育てるために、わかりやすい提示方法や選択肢を設けることで、伝える力や決定する力を伸ばせるように支援をしています。	今後は更に選択の幅を広げて参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7名	1名	サービス担当者会議を主催した際には児童発達管理責任者と現場の職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7名	1名	各関係機関と連携を図り、連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6名	2名	年間予定と週末に出る時間割を確認して、適切な対応を行っています。	学校との情報共有はなかなか行えていない為、今後積極的に取り組んで参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0名	8名	発達支援センターからの情報を基に児童のアセスメントを取っています。	就学前に利用していた事業所との繋がりを多く持てるように、日頃から意見交換やイベントの参加等を行って参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8名	0名	障害福祉サービスに移行する際は情報提供を行っています。法人で使用しているソフトで過去の様子を記録で振り返ることが出来ます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4名	4名	発達支援センター主催の研修に参加する場合があります。	研修がある際には、多くの職員が参加出来るように勤務の調整を行います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0名	8名	現在は取り組めていません。	感染防止の観点から、外部との接触は慎重にしています。今後の状態を見て検討を進めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6名	2名	児童発達支援管理責任者が構成員として恵庭市自立支援協議会・子ども部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8名	0名	LINEや送迎時を利用して、家庭での様子、施設での様子を共有できるよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2名	6名	家族が参加出来る研修があった際にはご案内しています。	事業所内でも研修を企画して参ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8名	0名	利用前の見学や契約の際に、支援内容や活動プログラム、及び利用料等の説明を行っています。	利用後も保護者からの質問等にはその都度返答を行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8名	0名	児童と保護者の意向の確認の場を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7名	1名	ご都合のつかないご家庭は文章でのやり取りとなってしまう場面もありますが、基本的には口頭での説明を行っています。	説明する場（日程調整をし）を広く設定して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7名	1名	必要に応じて話を聞く時間を設けるなどしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1名	7名	現在、実施できていません。	11月に開催予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7名	1名	苦情については第三者委員会を設置しており、サービスの契約をする際に説明を行っています。対応については迅速に行い、記録として残しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7名	1名	活動概要や行事予定については、通信を発行し、内容や活動風景を掲載しています。その他にもアプリを使用して日々の様子を伝えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8名	0名	個人情報はキャビネットに保管しています。また、たより等に掲載する写真についても顔が認識できるものの場合、予め保護者に掲載の許可を取っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8名	0名	写真や絵カード、文字カード等、子どもに合わせて視覚支援等を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1名	7名	たとくと単体では行っていません。	法人全体で行われる企画には、子どもたち参加できるように計画を立てていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7名	1名	感染症対応マニュアルや防犯対策マニュアルを策定しています。	新規に利用された方に感染マニュアルを配布します。また、施設内研修を通して職員間で対応を統一できるよう努めています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8名	0名	避難訓練や防災学習を児童も参加し定期的に行うようにしています。職員のみで避難経路や脱出方法を確認する機会も定期的に設けています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8名	0名	マニュアルを策定し、見直しも含めて確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8名	0名	利用前の聞き取りの中で、アレルギー症状やアレルギーのおそれのある食材についての情報を頂いています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7名	1名	安全計画を策定し、毎月設備の点検や研修などの機会を設けています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4名	4名		契約の際に取り組みの内容をお伝えしていることもありますが、日々情報を更新している訳ではない為、今後は情報の更新と周知を徹底します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8名	0名	職員がヒヤリハット事例を都度記入できるようにしています。定期的に事例集を配付し、全職員が共有できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8名	0名	虐待防止委員会が主催する研修や権利擁護セミナー等に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8名	0名	身体拘束適正化については法人内で慎重に取り組んでいます。	